

技術部

Technical Staff Group

技術部の活動

The Activity Report of Technical Staff Group

研究所において専門的知識・技術を通じて学術研究を支える技術職員が果たす役割は重要であり、個々の資質向上、自己研鑽や技術継承のために1991年より個別研修を1992年より技術発表会を行っており、現在、技術部において研修委員会、発表委員会そして技術部連絡会が密接な関係をもって運営されている。

◆研修委員会（個別研修）

1991年から個別研修がはじまり、年平均15件の個別研修が行われている。

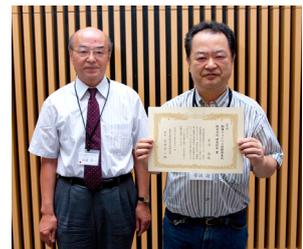
個別研修の申請内容も多様で、職務上必要な資格の取得から国際学会への参加、研究実用設備・機器の開発・設計・試作、研究実験の実施・解析等と幅広い内容で申請されている。この研修は技術職員個々の資質向上にも大いに役に立っている。

◆発表委員会（技術発表会）

1992年から技術発表会が開催され、平均12件の発表が行われている。発表内容も個別研修同様に多岐にわたっている。研究所が麻布地区より駒場Ⅱ地区に移転し、第14回(2005年)より駒場地区の技術職員等が所属部局の枠を超え、合同で駒場キャンパス技術発表会として開催している。この発表会は技術交流・情報交換の場としても重要な位置づけになっている。

◆技術部連絡会等

技術部長である所長と、各部門から選出された技術職員で所内における組織運営に関する情報共有を行うと共に技術職員に関する様々な問題点等について活発な意見交換を行っている。



2013年9月11日に行われた
第9回駒場キャンパス技術発表会風景
生研所長賞と大学院総合文化研究科科長賞受賞者